

令和6年度SDGs未来都市等成果報告会（10.24開催）

ホンマはどうなん？明石のこども施策

兵庫県明石市（2020年度SDGs未来都市選定）



● 地域の特徴（取組を発想した背景）

兵庫県明石市



人口 約 30.6 万人

面積 約 49.4 km²

時のまち



子午線上に建つ
天文科学館

海のみち



歴史のみち

源氏物語
にも登場

近年は
“こども”
のみち

なぜ
こども施策を？

住みやすい地域特性

温暖で晴天が多い 比較的平坦
交通の利便性の高さ
コミュニティのまちづくりの歴史
ベッタタウンの側面

まちづくりの課題

若者の流出
コミュニティの希薄化

2010 総合計画策定の審議会

- ・「人が育つ」ということが一番大事
- ・総花的ではなく得意分野に絞りこんで柱を立てるべき

2010 議会からの意見

- ・こどもの笑顔につながることを重点的にやるべき
- ・子どもの可能性を伸ばし 広い視野を持った子どもを育てていくことが重要

2011総合計画のまちづくり戦略
子どもの健やかな育ちでみんなの元気を生み出す

2013予算の重点施策
こどもを核としたまちづくり

●取組の内容と成果

こども施策で まちの好循環

① 施策(1) 明石市独自の5つの無料化

- 1 **医療費** 18才までの全員
- 2 **保育料** 第2子以降の全員
- 3 **おむつ** 満1歳まで（宅配も）
- 4 **給食費** 中学生
- 5 **遊び場** 親子とも

すべて
所得制限
なし

すべて
自己負担
なし

まちの好循環の流れ

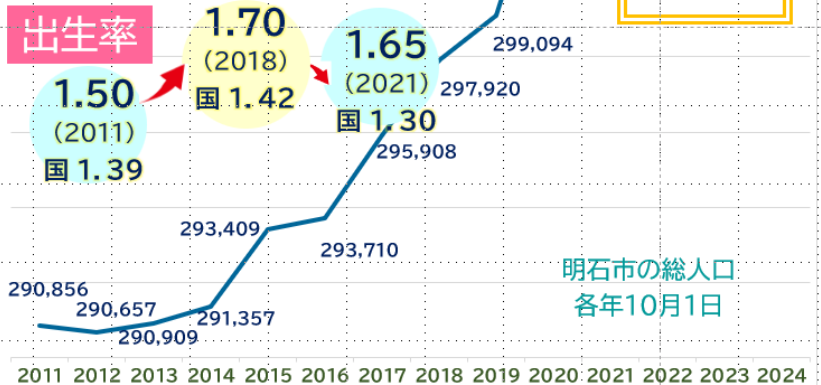
- ① **施策** 子ども施策 5つの無料化など
 - ② **安心** 子育てしやすいまち
 - ③ **人口** 10年連続人口増
 - ④ **にぎわい** 中心市街地の新規出店数増
 - ⑤ **財源** 税込増で 持続可能な財政運営
- ① さらなる **施策** 高齢者、障害者施策の充実化も
- ② さらなる **安心** すべての人にやさしいまち



人口 12年連続 増加中

子育て層 が大幅増

25～34歳と
0～4歳の 転入超過



過去最多を
更新中

【ポイント】

理念は「すべてのこどもを まちのみんなで応援」
現金給付(バラマキ)ではなく
現物給付(ベーシックサービス)
10年以上かけて段階的に実施
人口増加は目的ではなく結果

●取組の内容と成果

すべてのこどもに寄り添う施策

こども食堂を全小学校区で開設

明石版こども食堂の3つの機能



自由に遊んだり、勉強したりできる
子どもたちの居場所

遊び・学び

地域との
交流の場

気づきの
地域拠点

地域の子どもと大人が交流する場所
(高齢者・障がい者・保護者・学生など)

支援が必要な子どもの早期発見
明石こどもセンター等行政機関との連携



こどもたちがひとりでも
家から歩いていける場所

=

全28小学校区
56か所に設置

貧困対策ではなくすべてのこどもの居場所

妊娠期から切れ目のない こどもに寄り添う支援

市が実施(担当保健師発案のボトムアップ事業)

妊娠

母子手帳の交付時にすべての妊婦と面談

誕生～2か月

保健師などがすべての家庭を訪問

4か月

4か月健診未受診家庭の訪問も実施



様子が気になる 支援が必要な場合 連携して対応

コープこうべと連携して実施

3か月～1歳

おむつ定期便
子育て経験のある配送員が
毎月家庭にお届け



他の主なこども施策

ブックスタート・ブックセカンド(絵本のプレゼント)

里親100%プロジェクト

児童手当の毎月支給

こども養育費の立替支援

こども夢応援プロジェクト(給付型奨学金)

児童相談所の設置(中核市で3市目)

小中学校における少人数学級の実施

こどもの居場所づくりの推進(公設民営フリースペース)

高校生世代への児童手当の支給(国に先立って)

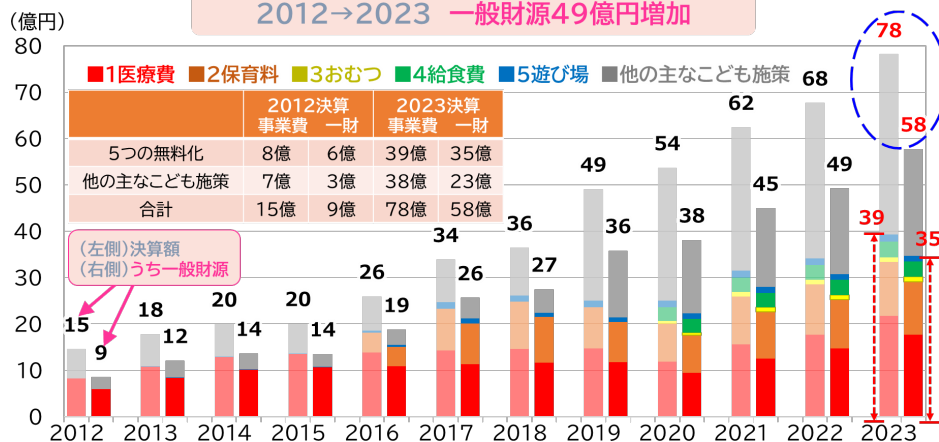
- 困難やつまずきなど苦労したこと及びそれをどのように克服したか
- 推進体制（ヒト・カネ・モノ）の整備方法

こども施策の財源を なぜ賄えたか

財源をどう捻出したのか

こども施策の経費の推移

2012→2023 一般財源49億円増加



① 人口増加で歳入が増えた

人口増に伴う歳入増がなければ財源は捻出できなかった
増加した一般財源歳入を こども施策に集中的に活用した

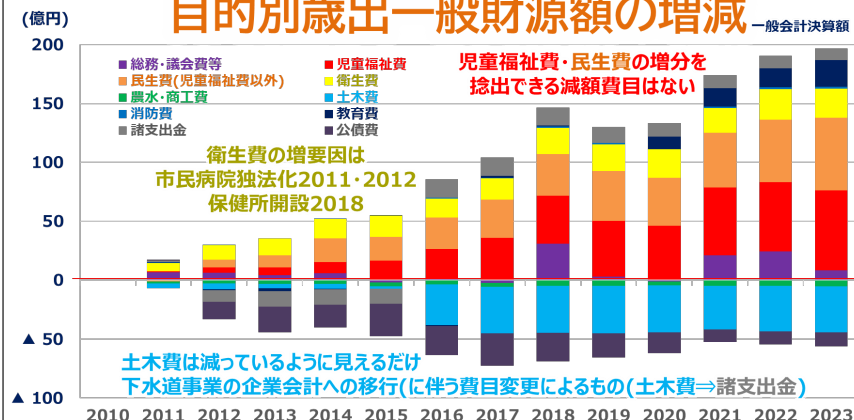
② 財政健全化に取り組んだ

職員数の削減等 市役所内部の財政健全化に取り組んだ
中核市になったが 民生費以外の増加を抑制した

③ 時流に合った取組であった

景気回復 消費税率アップ 国の地方財源確保の方針など
歳入が増加傾向の時期だった

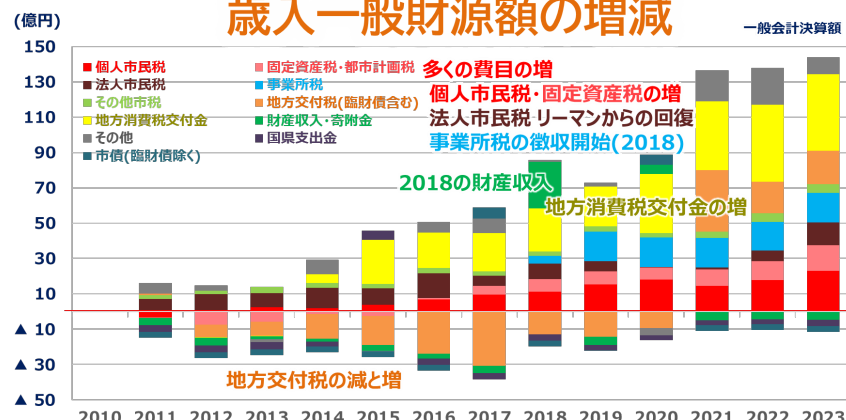
目的別歳出一般財源額の増減



こども予算のために大きく減らした費目はあるか？

→ ない 人口が増加し中核市になったが民生費以外の増加を抑制している

歳入一般財源額の増減



大きく増えてこども予算を賄えた費目はあるか？

→ 複数の費目の歳入増があった

● 庁内調整・外部調整の工夫

予算のやりくりには魔法の杖はなし

夏から秋ごろ



市長

来年度は〇〇をやるから〇億円の財源が必要やな
歳入増見込が□億円あるから大丈夫やろ
残りの〇-□億円分は やりくりで何とかして



副市長

市長には 財源が厳しいって大分言うてんけどなあ…
あかんかった 止まらんかったわ

わかりました 予算編成の中で工夫してみます

工夫って言うても できることは限られるよな
各事業の前年決算額を基本に ちょっと無理してでも
切るしかないな 所管課からは 色々言われるやろうけど



財政

当初予算時の基金取崩額を何とか例年並みに抑える

翌年1～2月(予算案説明)



財政

かなり無理したけど
何とか例年並みに収まった

来年度予算には〇〇の〇
億円を計上していますが
財政の持続可能性には
問題ありません



財政

ホンマに人口増えるんか?
財政は大丈夫なんか?

この先はどこまで行っても
平行線やろな…



議員

財政を不安視する意見は根強い

財政健全化の主な取組

人件費の削減

市有施設の包括管理委託

公共施設の照明一括LED化

電力・ガスの一括調達

JT工場跡地の売却

高齢者大学校跡地の売却

少年自然の家の利用停止

民間委託の推進

ふるさと納税等 歳入の確保

● SDGsの視点と政策をどのように結びつけたか

「誰ひとり取り残さない」こども以外にも一人ひとりに本気で寄り添う 一貫したメッセージ

高齢者	認知症あんしんプロジェクト(診断費用無料など) コミュニティバスの無料化 みんなの給食の実施	犯罪被害者	損害賠償の立替支援金制度 再提訴などの費用補助
障害者	合理的配慮を支援する公的助成制度 手話言語・障害者コミュニケーション条例	更生支援	更生支援ネットワーク会議の創設
		LGBTQ+	明石にじいろ相談・パートナーシップ制度等

●SDGsの取組を推進して良かったこと・周囲の反応など

うまくいった要因は？

① 地域特性や時流に合った取組だった

ベットタウンの側面・住みやすさといった明石の地域特性を踏まえていた

市税等一般財源収入が確保しやすい時期に取り組んだ

② こども施策に特化する方針が明確

目玉施策は明確な指示があり 総花的な計画の策定は求められなかった

各分野間のバランスを見直すべきという意見もあった

③ 市民に本気のストーリーが伝わった

本気のストーリーがトップの発信力もあり 様々な媒体で取り上げられた

他自治体との比較を前面に出す手法には賛否両論があった

●今後の展望・他地域への展開

今後のキーワードは「対話と共創」2023.5 丸谷市長就任後

共創元年



市民とつながり
共に創る 明石の未来

対話と共創

SDGs未来安心都市・明石

いつまでも

未来につながる
持続可能なまちに向けて

いつまでも

みんな

やさしいまち

安心のインクルーシブな
まちづくりを

すべての人に

年齢・性別・障害・
国籍などに関わらず、
誰一人取り残さない

やさしい
まち

みんな

「対話」と「共創」で
進めます

市長によるタウンミーティングを毎月実施



市長就任後17回
高齢者・障害者
こども・若者・地域
協働など 様々な
テーマで開催

民間提案制度など共創の取組を推進



社会課題の解決に
つながる提案を
事業化を目指す
民間提案制度を
今年度から開始

他自治体や大学・企業等との連携協定



神戸市との生物
多様性に係る協定
兵庫県立大学との
包括連携協定
市内企業との協定

きめ細やかな こども施策の展開



5つの無料化継続
こどもの居場所増設
医療的ケア児支援
プレーパークの実施
など

● 明石のこども施策は他自治体でもできる

① こども施策を できる環境はある

明石市は歳入にめぐまれた自治体ではない
近年 自治体の一般財源歳入は増加傾向
歳出では 明石市は児童福祉費の大幅増以外に大差はない

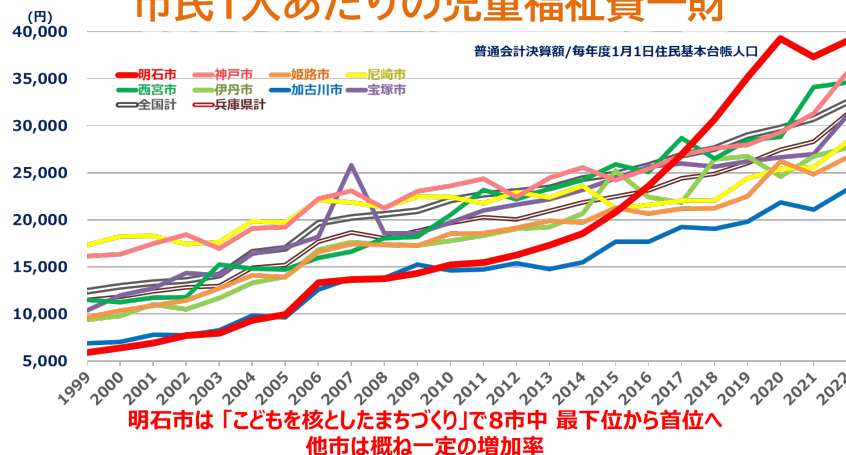
② 各市 こども施策は一定やっている

各市 それぞれの考え方のもとで こども施策を行っている
国もこども施策の充実を図っている
(幼児教育・保育の無償化 児童手当の拡充等)

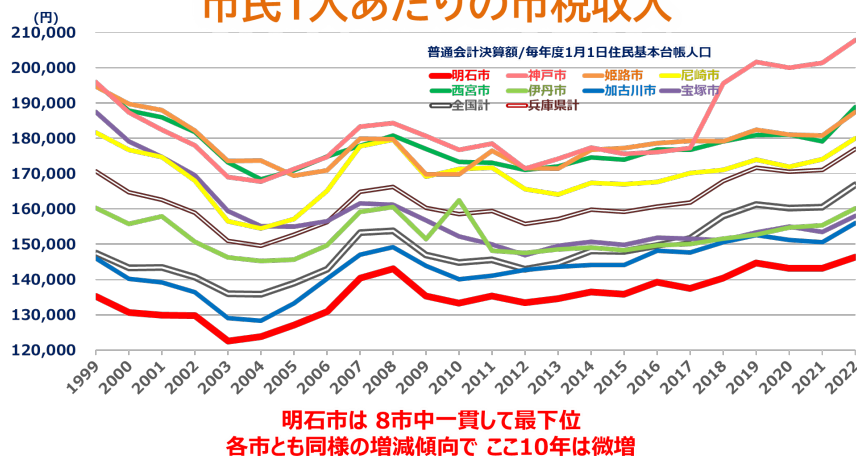
③ さらに充実するには 明確な方針が必要

歳入の増加があっても 普通は各分野に均衡して使われがち
明石市は明確な方針があったので集中的に財源を活用できた

市民1人あたりの児童福祉費一財



市民1人あたりの市税収入



市民1人あたりの歳出(民生費除く)一財

